

# 火災のない、明日に向かって 消防出初式



## 「火の用心」の決意新たに

1月8日に上野運動公園競技場で「消防出初式」が行われ、消防職員や消防団員、防火協会や企業の自衛消防隊など11団体の1381人が参加しました。

通常点検では、今岡市長や権蛇助役・内保助役らが消防職員や消防団員の服装・姿勢・動作などを一人ひとりチェックしました。

優良消防団員の表彰では、昨年の三重県消防操法大会ポンプ車の部で優勝し、全国大会へ出場した伊賀市消防団伊賀方面隊選抜チームが伊賀市長表彰と三重県消防協会伊賀支会消防団員特別表彰を受けました。また、長年に亘る消防活動に尽力してきた方などが表彰を受け、合わせて287人へ感謝状と賞状が贈られました。

受章者を代表して、島ヶ原方面隊分団長の福永賢治さんが「地域は自分たちで守るといふ自主防災が重要となり、消防団に対する期待も高まっています。住民の皆さんの期待にそえるように努めたい」

と謝辞を述べました。

また、伊賀市消防団長の中森伸正さんは「昨年からのような市民参加型の出初式を開催しています。今後も日夜、訓練に励みたいと思います」とあいさつしました。

初期消火訓練では、市内の自主防災組織の皆さんや、来賓の市議会議員が消火器を使う訓練を行いました。

その後、あやま保育所幼年消防クラブの子どもたちと消防団員による腕用ポンプの放水がありました。放水を終えると、子どもたちは「火遊びは絶対しません」「マツチやライターは持ちません」など防火の誓いを元気いっぱいに言いました。

最後は、消防職員・団員による一斉放水です。空高く放たれた水を見つめながら、「地域の安全は地域のみならず、守ろう」という思いを、参加者は改めて感じたようでした。

参加者からは「団員まかせでなく、市民全体で取り組むことが大事」（自主防災組織リーダー）「地域の一番身近な防災組織なので、地域の人もっと連携して活動していきたい」（消防団員）などの意見がありました。

# 優良消防団員表彰

※敬称略

## ■市長表彰

(全国消防操法大会出場選手)

▼部長 丸柱 嘉章

福西 保

澤野 啓之

▼団員 富田 昌義

宮田 竜磨

森川 陽一郎

川内 洋樹

山本 勝彦

南出 真樹

## ■県消防協会定例表彰

▼分団長

福永 賢治 (鳥ヶ原)

▼副分団長

西澤 宏之 (上野)

小阪 正一 (上野)

▼部長

佐田 稔昌 (上野)

▼精勤章

▼分団長

北口 浩明 (鳥ヶ原)

稲森 誠 (大山田)

福井 隆生 (青山)

濱村 昭 (青山)

中井 淳夫 (鳥ヶ原)

杉本 佳也 (青山)

城戸 敏徳 (上野)

▼副分団長

山出 憲清 (鳥ヶ原)

山上 敬史 (上野)

増井 達也 (鳥ヶ原)

▼部長

田中 一光 (青山)

越山 忠幸 (青山)

西田 茂樹 (伊賀)

橋本 尚彦 (伊賀)

中野 和広 (上野)

▼表彰徽章

83人

## ■県消防協会伊賀支会定例表彰

▼功労章

▼分団長

平岡 祐一 (阿山)

▼副分団長

小倉 英樹 (阿山)

福永 篤人 (青山)

福島 正勝 (阿山)

東 博章 (大山田)

穂積 清秀 (鳥ヶ原)

前川 直平 (大山田)

▼部長

安本 真也 (上野)

上島 文雄 (上野)

宮崎 裕文 (上野)

種岡 必勝正義 (上野)

大西 仁 (上野)

森野 真治 (上野)

福澤 孫征 (上野)

▼表彰徽章

153人

## ■県消防協会伊賀支会 消防団員特別表彰徽章

9人

# 平成18年中の伊賀市の火災・救急・救助概要

## 1 火災件数

火災種別	平成18年	平成17年	増減
建物火災	19	20	△1
林野火災	3	6	△3
車両火災	15	15	0
その他火災	5	16	△11
合計	42	57	△15

平成18年中の火災件数は、42件となっています。昨年と比較すると15件の減少となりました。火災種別では建物火災が最も多く19件で、全体の45%を占めています。次に車両火災15件、その他火災(道路・空地の枯草の火災など)5件、林野火災3件の順となっています。

火災の主な原因としては、たき火・枯草焼きがあげられますが、車両の故障・事故による火災も多く発生しました。

## 2 救急件数

事故種別	平成18年	平成17年	増減
急病	2,423	2,455	△32
交通	517	569	△52
一般負傷	511	560	△49
労働災害	75	86	△11
自損事故	63	41	22
加害	27	16	11
運動競技	22	13	9
火災	2	3	△1
水難	1	0	1
その他	204	208	△4
合計	3,845	3,951	△106

平成18年中の救急件数は3,845件で1日平均で約10.5件出動したことになります。事故種別の救急件数では、急病による出動が最も多く2,423件で全体の63%と半数以上を占めています。次いで交通事故、一般負傷となっています。

119

## 3 救助件数

事故種別	平成18年	平成17年	増減
火災	1	0	1
交通	50	43	7
水難	1	0	1
機械による事故	3	1	2
建物などによる事故	1	0	1
その他の事故	3	5	△2
合計	59	49	10

平成18年中の救助件数は、59件となりました。昨年と比較すると10件の増加となりました。事故種別では、交通事故が最も多く50件で全体の約85%を占めています。

### 【問い合わせ】

伊賀市消防本部 消防救急課 ☎24-9116  
伊賀南部消防組合 青山消防署 ☎52-1151

